

都農町資源マップ 5班

石川 森田 新納 徳永

●自然スポット ●危険スポット



特集！～東都農の歴史～

このあたりは江戸時代に「山陰一揆」という一揆が起こった場所。歴史でよく見かける「百姓一揆」の元になったそう。

数年にわたる大雨と洪水の影響で農作物が不作になる中、延岡藩が厳しい年貢の取り立てを行なったため、農民たちは高鍋藩に飛散しようとするが見つかってしまう。

その後農民と延岡藩は戦ったが幕府の裁定により約14名が犠牲になった。



1



山陰百姓一揆の記念石碑
江戸の元禄の時代に多くの犠牲者出した一揆の存在を後世にも伝えるために建てられた石碑。20年前に建てられた。

2



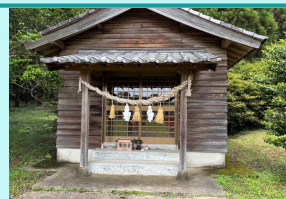
又猪野地区集会所
この集落の人々が集う地域コミュニティの場。山陰百姓一揆などの資料が保管されている施設でもある。涼しく見晴らしのいい平地にある。

3



黒木さん宅の大樹
森林が立ち並ぶ土地の中でひととき目立つ、高くそびえ立つ大樹。樹齢は100年を超えているらしい。

4



菅原神社
白い鳥居をくぐった先の木造の本殿は、コンパクトではあるが、長い歴史がある。神聖な力は感じるこの神社は、ご利益を授かれそうだ。

5



イチゴの苗
200個以上の苗が育てられていた。ここは風通しもよく、日光もよく当たるので苗を育てるに適している。

6



物置小屋
トラクターなどの農業用具が置いてあった。おそらくこの周辺では農業が盛んなのだろう。

7



廃墟の鶏舎
今にも屋根が崩れてきそうな場所。地震や大雨の際は警戒の必要がある。

8



征矢原川
透き通った水が流れていた。流れは奥に行くにつれて速くなっていったため安易に入らない方がよい。

9



劣化した土砂止め柵
木の部分は劣化していて大雨の際には、土砂が流れてきそう。

感想

東都農でのフィールドワークを通して、農業と地方地域都市とのかかわりの大きさを深く感じた。食・職・飾、様々な形で私たちの生活に欠かせない農業は、重要な地域資源となりうるが、放棄された農地や、廃墟と化した畜舎・倉庫は、地域にとっての負担ともなる。とくに現状、産業のほとんどを農業が占めている東都農ではそれが顕著だった。このような問題解決に、担い手の高齢化や減少が問題となっている今だからこそ、農業県である宮崎だからこそ、そして、地域資源創成を掲げる私たちだからこそ取り組みたい。これからの授業はその具体性を高めることを意識していく。

